

MAX

ENGINEERED FOR
PERFORMANCE

マックス株式会社

2023年3月期 決算説明

2024年3月期 事業計画

発表日:2023年4月28日

出席者

代表取締役社長	黒沢 光照
常務取締役 上席執行役員	角 芳尋
執行役員 経理部長	北谷 明雄
IR広報・ESG推進室長	須田 庸夫

目次

2023年3月期 全社実績

1. 2023年3月期 全社実績
2. 年間配当予想の修正
3. 2019～23年3月期 全社実績推移
4. 四半期別売上高推移
5. 四半期別営業利益推移
6. 営業利益の増減要因
7. その他の財務情報
8. 戦略的投資の実績
9. 経済指標

2023年3月期セグメント実績

10. 2023年3月期 セグメント実績
11. 四半期別セグメント実績推移
12. インダストリアル機器部門 2023年3月期実績
13. インダストリアル機器部門 四半期別売上高推移
14. オフィス機器部門 2023年3月期実績
15. オフィス機器部門 四半期別売上高推移
16. HCR機器部門 2023年3月期実績
17. HCR機器部門 四半期別売上高推移
18. 四半期別海外地域別売上高推移
19. 重点事業:鉄筋結束機事業の概況
20. タイ第3工場稼働開始

2024年3月期 事業計画

21. 2024年3月期 全社計画
22. 2024年3月期 セグメント計画
23. 2024年3月期 サブセグメント(事業別)計画
24. インダストリアル機器部門 (2024年3月期計画)
25. オフィス機器部門 (2024年3月期計画)
26. HCR機器部門 (2024年3月期計画)
27. 鉄筋結束機事業の展開①
28. 鉄筋結束機事業の展開②
29. 戦略的投資計画
30. 配当政策 配当性向と純資産配当率
31. 配当政策 1株当たり配当金

参考資料

32. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(北米)
33. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(欧州)
34. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(日本除くアジア)
35. 機工品事業及びオフィス事業の主な製品
36. 国内・海外機工品事業 製品内訳
37. 国内・海外オフィス事業 製品内訳

2023年3月期 全社実績

2023年3月期 全社実績

■為替レート

(円)	当期	前期	計画
1ドル	135.07	112.08	134.28
1ユーロ	140.84	130.56	138.96

(単位:百万円、%)

	当期実績	前期実績	増減率	通期計画※	達成率
売上高	84,316	73,958	+14.0	85,400	98.7
売上総利益	36,129	31,388	+15.1	—	—
同率	42.8	42.4	—	—	—
営業利益	9,926	7,498	+32.4	9,800	101.3
同率	11.8	10.1	—	11.5	—
経常利益	10,510	8,282	+26.9	10,150	103.6
同率	12.5	11.2	—	11.9	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,619	6,090	+25.1	7,250	105.1
同率	9.0	8.2	—	8.5	—
ROE	8.9	7.5	—	8.4	—
一株当たり当期純利益	161.07	128.40	—	153.27	—
一株当たり配当金	78円	64円	+14円	74円	—

※2023年1月31日修正計画

当期業績及び配当政策に基づき、

1株当たり年間配当予想を74円から78円へ修正

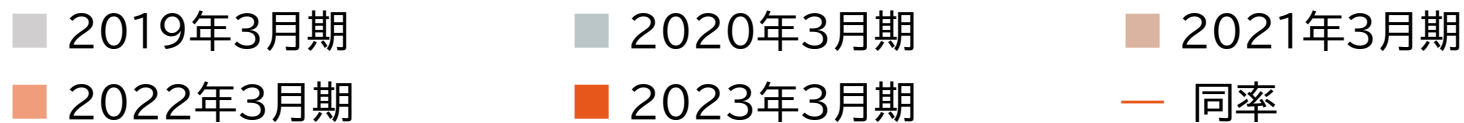
配当政策

連結決算を基準に「純資産配当率3.5%下限、配当性向50%目標」

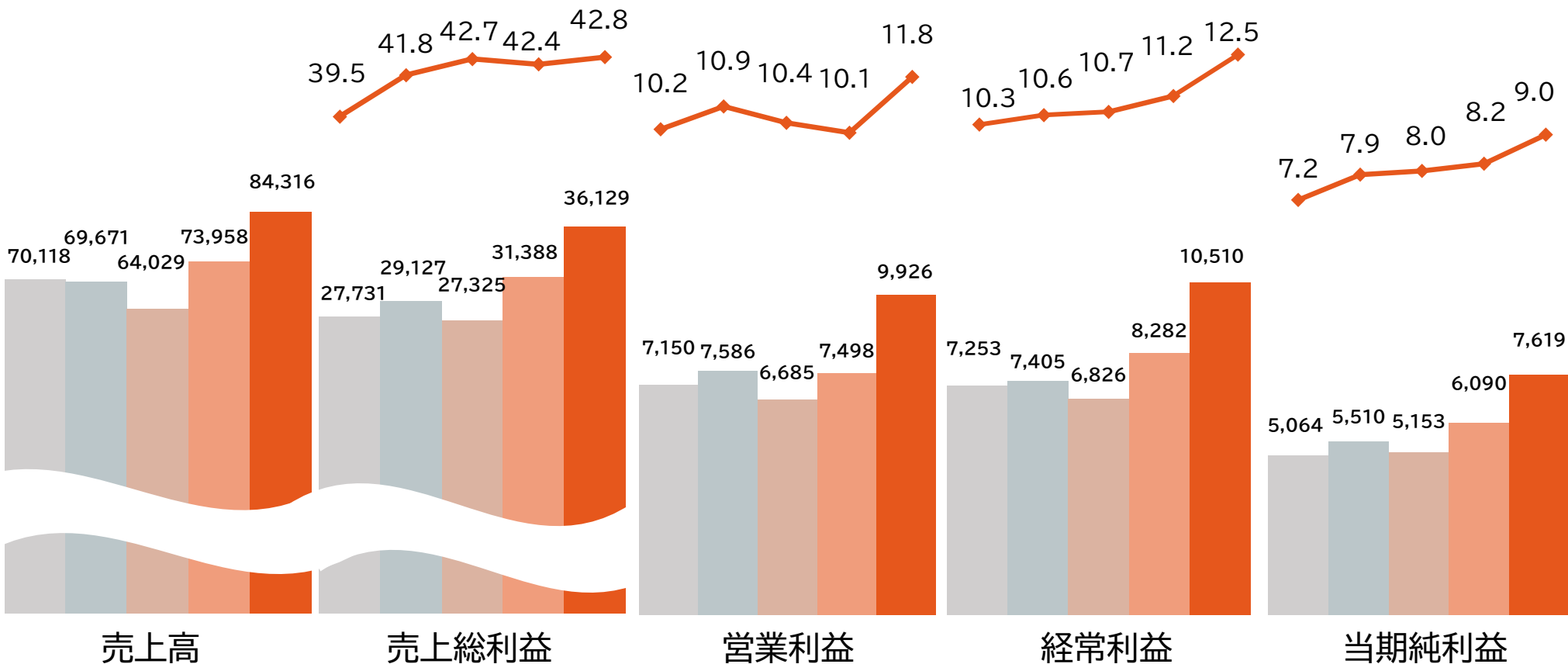
	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2023/1/31)	—	74.00	74.00
今回予想	—	78.00	78.00
前期実績 (2022年3月期)	—	64.00	64.00

「純資産配当率4.3%、配当性向48.4%」

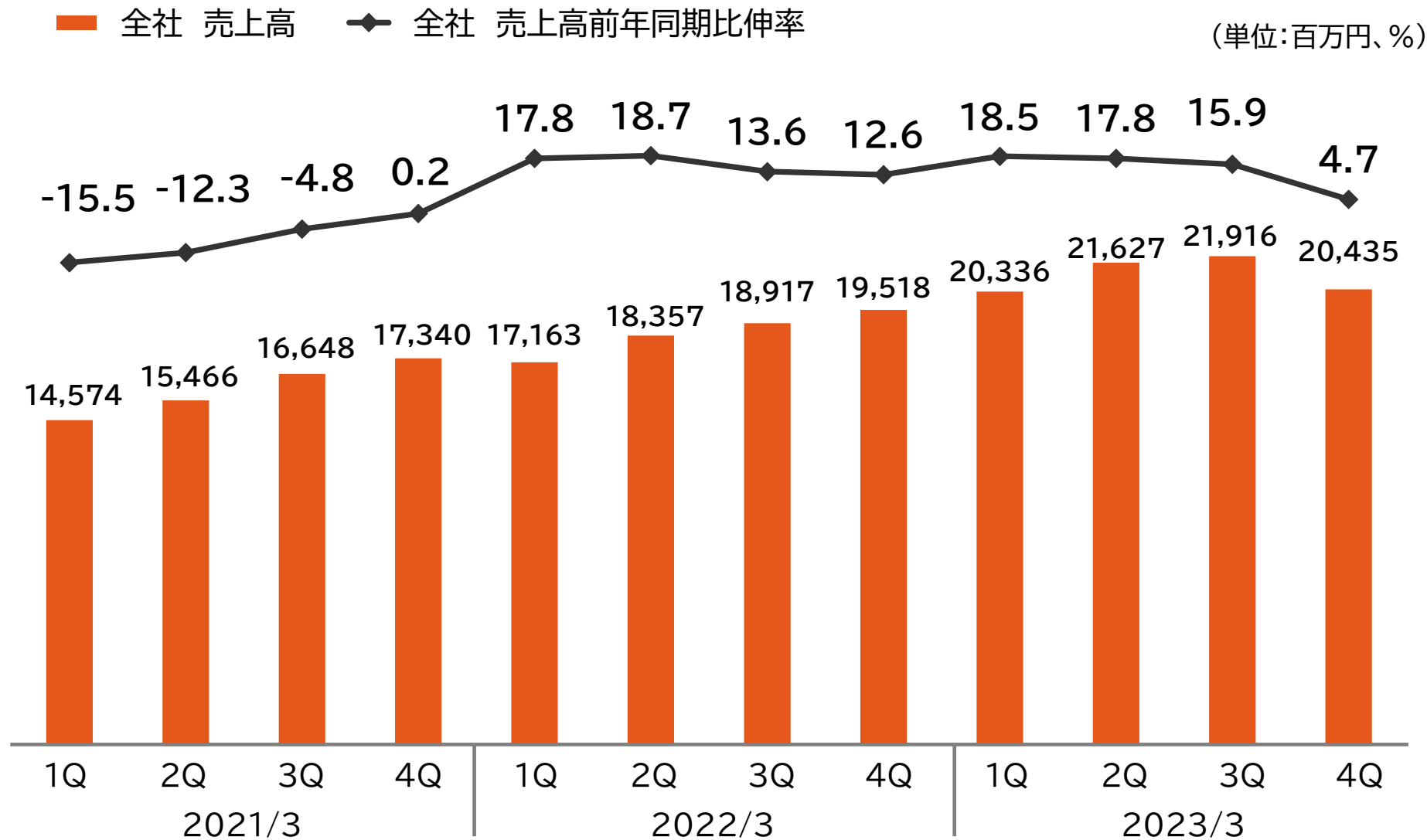
2019～23年3月期 全社実績推移



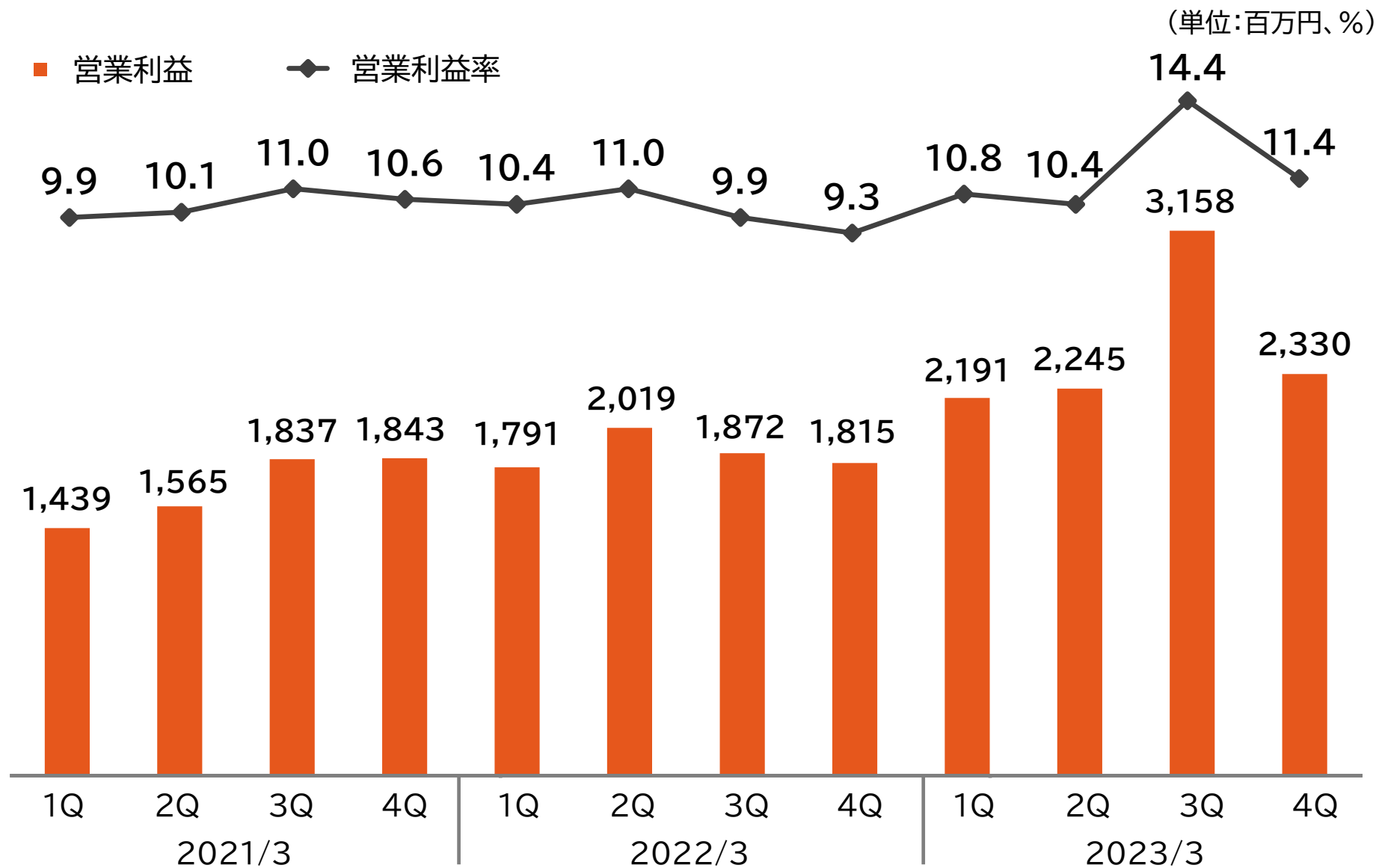
(単位:百万円、%)



四半期別売上高推移

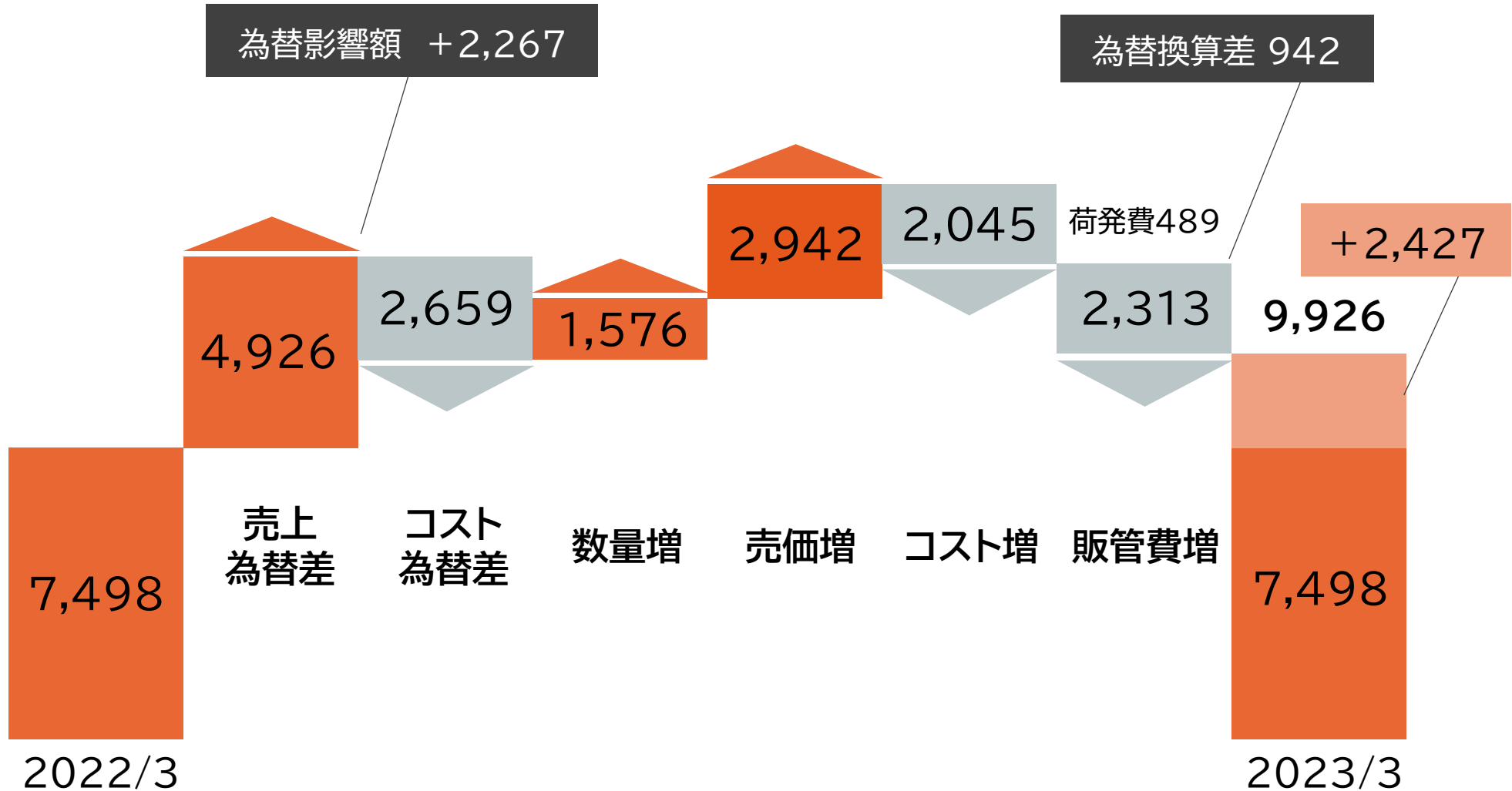


四半期別営業利益推移



営業利益の増減要因

(単位:百万円)



■ 営業外収支と特別損益の実績

(単位:百万円)

	2023年3月期	2022年3月期	前年差
営業外収支	584	783	△198
営業外収益(為替除き)	425	387	+37
営業外費用(為替除き)	△84	△90	+6
為替差額	244	486	△242
特別損益	△210	△32	△177
特別利益	42	3	+39
特別損失	※ △253	△36	△216

※減損損失185百万円、内137百万円(円安及び電子部品の高騰を要因とする住環境機器事業の収益性悪化のため)

■ 設備投資、減価償却費、研究開発費の実績

(単位:百万円、%)

	2023年3月期	2022年3月期	2023年3月期 年間計画	実行率
設備投資	3,542	4,183	4,464	79.3
減価償却費	3,022	2,811	3,161	95.6
研究開発費	3,876	3,463	3,852	100.6

重点方針

重点事業の拡大と新規事業の創出への積極的な投資により、事業成長につなげる

中長期的な事業成長に向けた戦略的投資

3年間累計投資額
(2022/3~24/3) 36億円

(単位:百万円、%)

2023年3月期	実績	計画	実行率
営業インフラ投資	323	500	64.6
デジタル技術への投資	157	200	78.5
開発戦略投資	218	500	43.6
コーポレート・コミュニケーション投資	39	100	39.0
合計	737	1,300	56.7

原材料価格の高騰や為替の変動が、企業収益に影響

国内

経済社会活動の正常化が進んだことにより、緩やかな持ち直しの動きが継続。

当社インダストリアル機器部門に関連する住宅着工戸数について、持家が前年に対して減少した一方で、賃貸・分譲が底堅く推移。

海外

新型コロナウイルス感染症による影響が緩和され、回復基調を維持。

米国は、住宅着工が冷え込んだものの、商業ビルや高速道路など非住宅市場に対する建設投資が堅調に推移。

欧州は、不透明な景気見通しから、国ごとに景況感に差がみられる状況。

参考指標

新設住宅着工戸数

・2022年1月～12月は前年比+0.4%
(持家△11.3%、賃貸+7.4%、分譲+4.7%)

→機工品事業(木造系)、住環境機器事業にややプラス影響

非居住建築物の着工床面積/建設技能労働者需給

・2021年10月～2022年9月は前年比+14.9%
(事務所+15.4%、店舗△3.5%、工場+38.3%、倉庫+29.1%)

・建設技能労働者
鉄筋工(建築)の需給は、3Qまでは不足気味、4Qは不足解消傾向
→機工品事業(コンクリート系)にプラス影響

為替

・1ドル135.07円、1ユーロ140.84円
(前年:1ドル112.08円、1ユーロ130.56円)
・売上為替感応度(年間換算)(※2024年3月期 計画値)
米ドル200百万円、ユーロ90百万円
・営業利益為替感応度(年間換算)(※2024年3月期 計画値)
米ドル50百万円、ユーロ90百万円

米国の新設住宅着工戸数

・2023年1月の年率換算値は133.4万戸、2月は143.2万戸、3月は142.0万戸
(前年1月:167.9万戸、2月:178.8万戸、3月:179.3万戸)

2023年3月期セグメント実績

2023年3月期 セグメント実績

10

(単位:百万円、%)

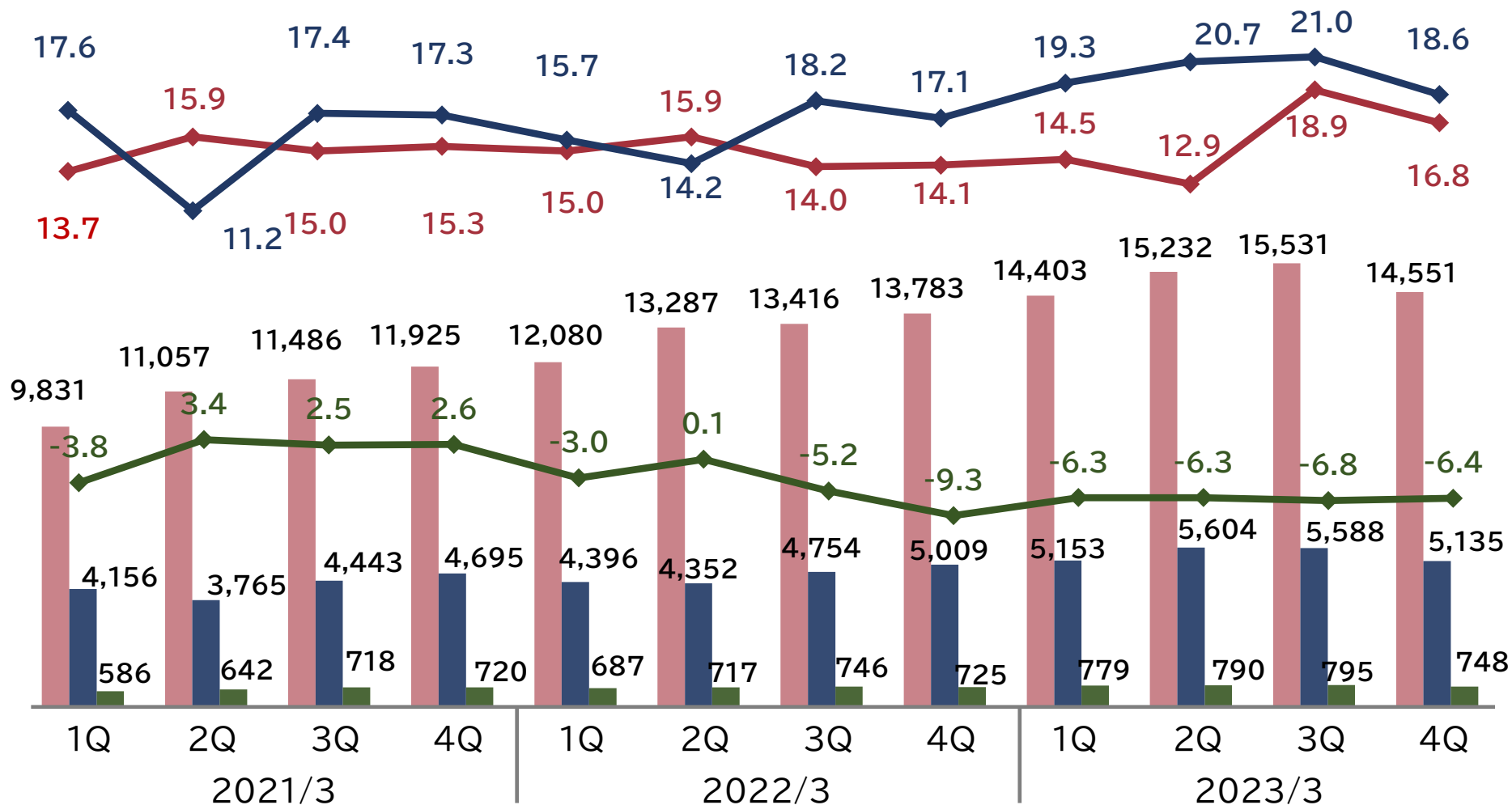
	当期実績	前期実績	増減率	通期計画※	達成率
インダストリアル機器部門					
売上高	59,719	52,569	+13.6	60,550	98.6
セグメント利益	9,433	7,739	+21.9	9,550	98.8
セグメント利益率	15.8	14.7		15.8	
オフィス機器部門					
売上高	21,482	18,513	+16.0	21,700	99.0
セグメント利益	4,287	3,034	+41.3	4,190	102.3
セグメント利益率	20.0	16.4		19.3	
HCR機器部門					
売上高	3,113	2,875	+8.3	3,150	98.9
セグメント利益	△ 201	△ 126	—	△160	—
セグメント利益率	△ 6.5	△ 4.4		△5.1	
調整額	△ 3,594	△ 3,148	—	△3,780	—
全社計					
売上高	84,316	73,958	+14.0	85,400	98.7
営業利益	9,926	7,498	+32.4	9,800	101.3
営業利益率	11.8	10.1		11.5	

※2023年1月31日修正計画

四半期別セグメント実績推移

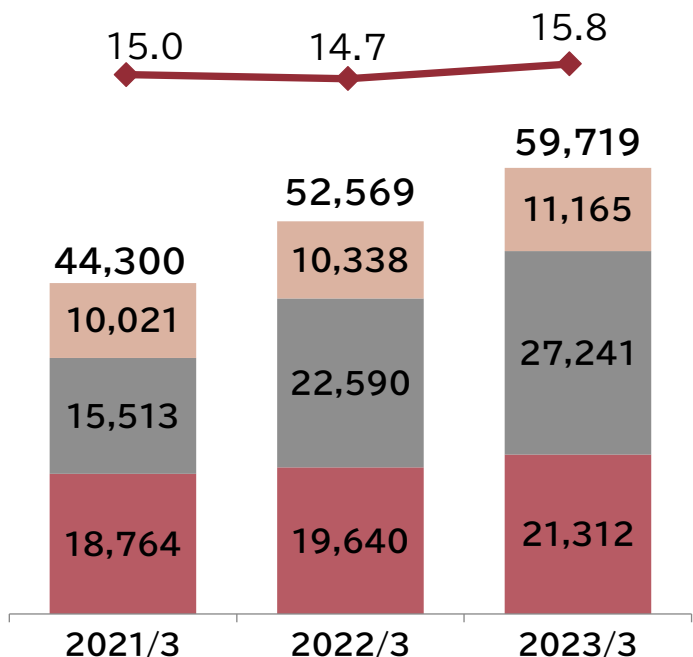
- インダストリアル機器部門 売上高
- オフィス機器部門 売上高
- HCR機器部門 売上高
- インダストリアル機器部門 セグメント利益率
- オフィス機器部門 セグメント利益率
- HCR機器部門 セグメント利益率

(単位:百万円、%)



■ 国内機工品事業 ■ 海外機工品事業
 ■ 住環境機器事業 - セグメント利益率

(単位:百万円、%)



鉄筋結束機「ツインタイア」



コンプレッサ 新モデル

国内機工品事業

▶ 生産性向上を切り口とした提案活動の推進や組織体制の整備により、鉄筋結束機「ツインタイア」とその消耗品の販売が増加したほか、エアコンプレッサ新製品の販売が引き続き好調に推移しました。

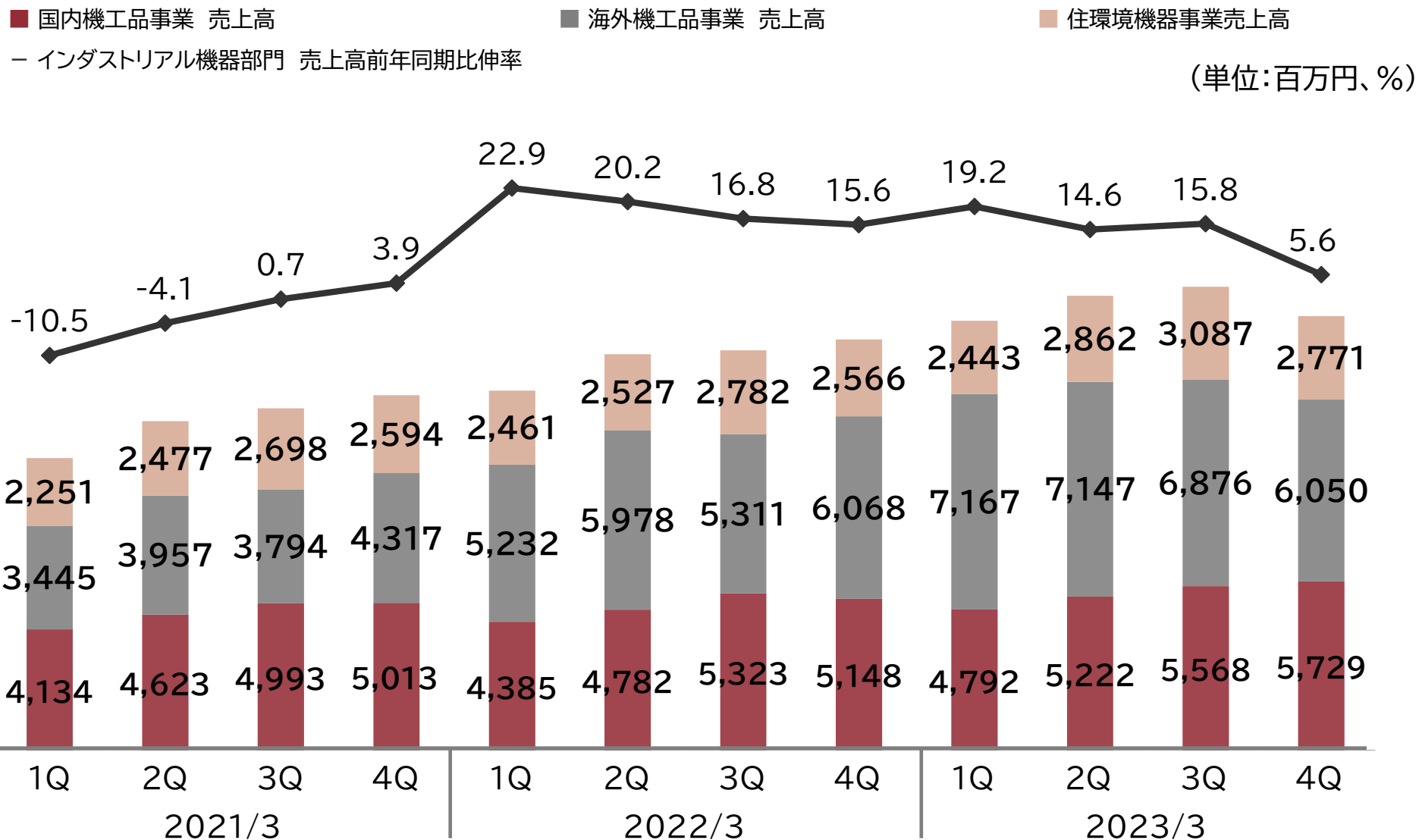
海外機工品事業

▶ 建設現場における人手不足と商業ビルや高速道路など非住宅市場に対する投資が堅調であったことを背景として、鉄筋結束機「ツインタイア」の消耗品の販売が増加しました。

住環境機器事業

▶ 主力の浴室暖房換気乾燥機「ドライファン」の販売が、注力しているリフォーム・リプレースのストック市場で伸長したことに加え、新築住宅市場でも伸長しました。

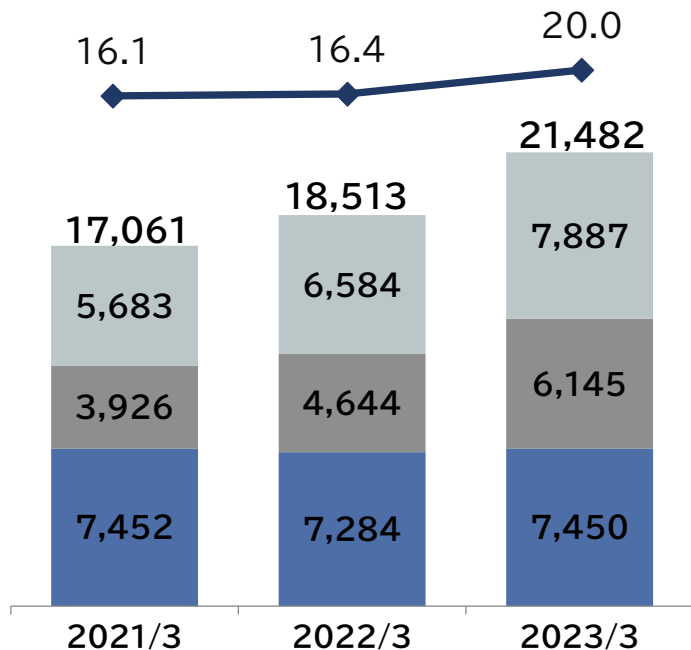
インダストリアル機器部門 四半期別売上高推移



オフィス機器部門 2023年3月期実績

- 国内オフィス事業
- 海外オフィス事業
- オートステープラ事業
- セグメント利益率

(単位:百万円、%)



表示作成機「ビーポップ」



スティックタイプホッチキス「MOTICK」

国内オフィス事業



WEBセミナーや展示会を活用した提案活動により、表示作成機「ビーポップ」の販売が増加するなど、文字表示機器の販売が増加しました。

海外オフィス事業



東南アジアを中心に文具関連製品の販売が増加したほか、欧州における営業体制の強化などにより、表示作成機「ビーポップ」の機械・消耗品ともに販売が増加しました。

オートステープラ事業

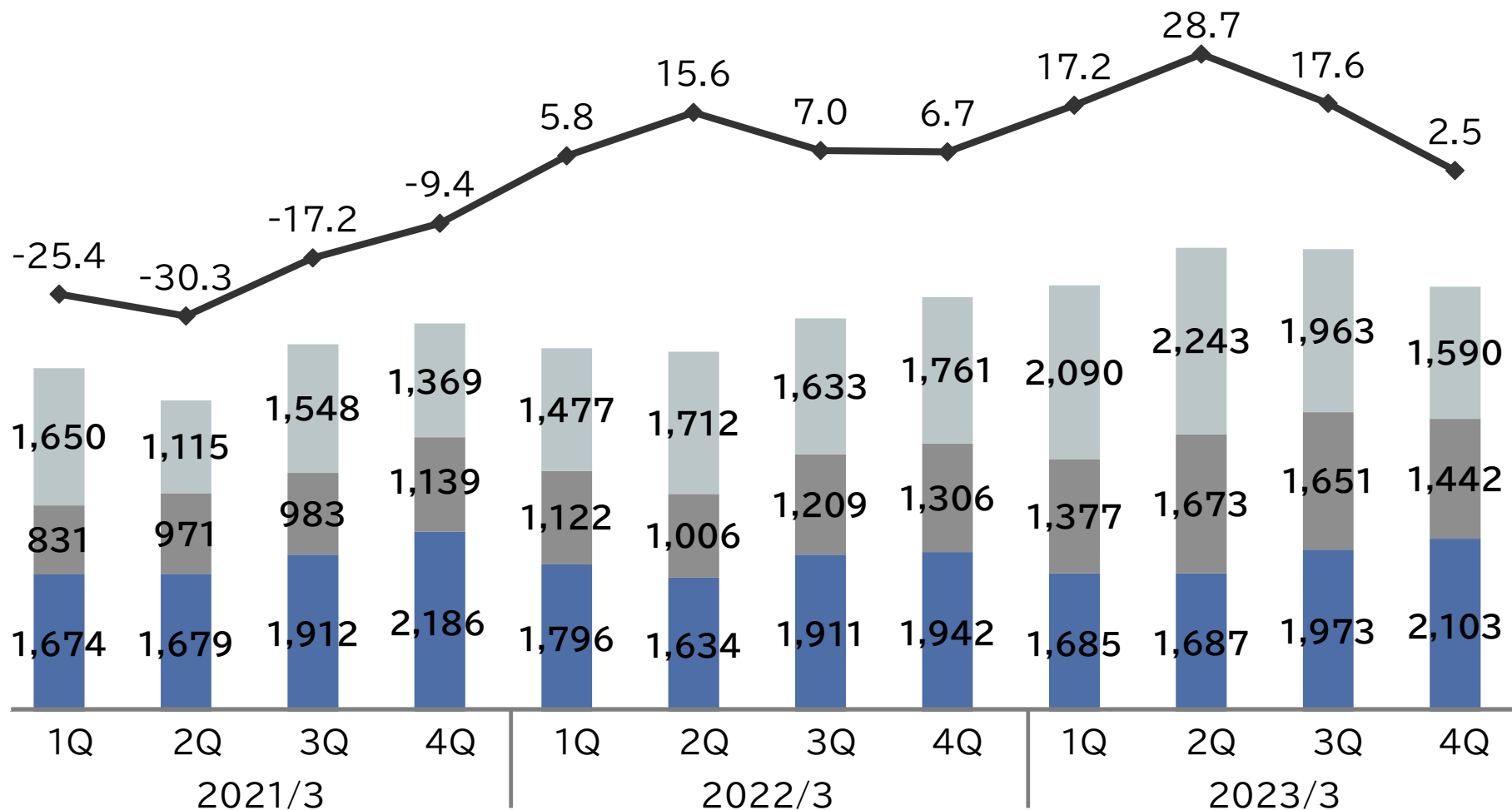


オフィスへの回帰が進んだことにより機械・消耗品の販売が伸長しました。一方で、第4四半期は、機械・消耗品の販売が鈍化しました。

オフィス機器部門 四半期別売上高推移

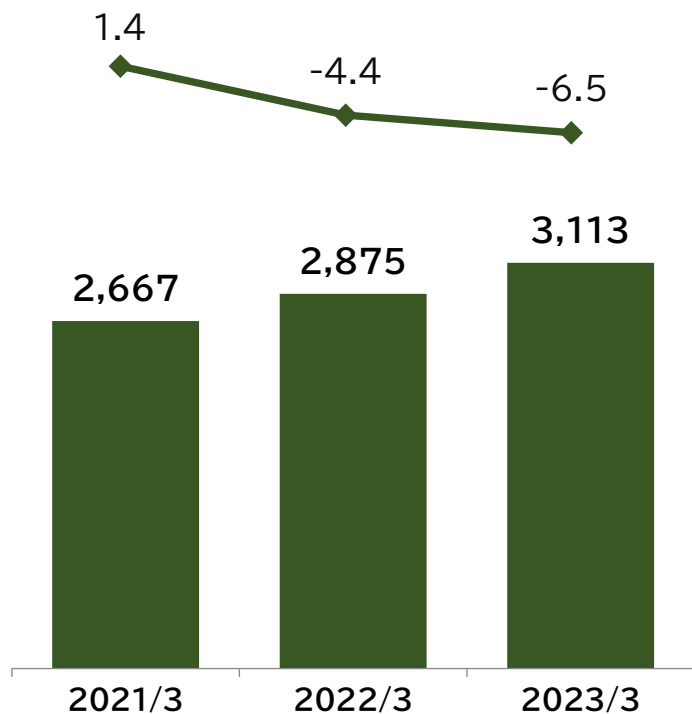
■ 国内オフィス事業 売上高 ■ 海外オフィス事業 売上高 ■ オートステープラ事業売上高
 - オフィス機器部門 売上高前年同期比伸率

(単位:百万円、%)



■ HCR機器部門売上高 — セグメント利益率

(単位:百万円、%)



機能性車いす
「ウェイビットループラス」



背張り調整車いす
「バックス」

HCR機器部門



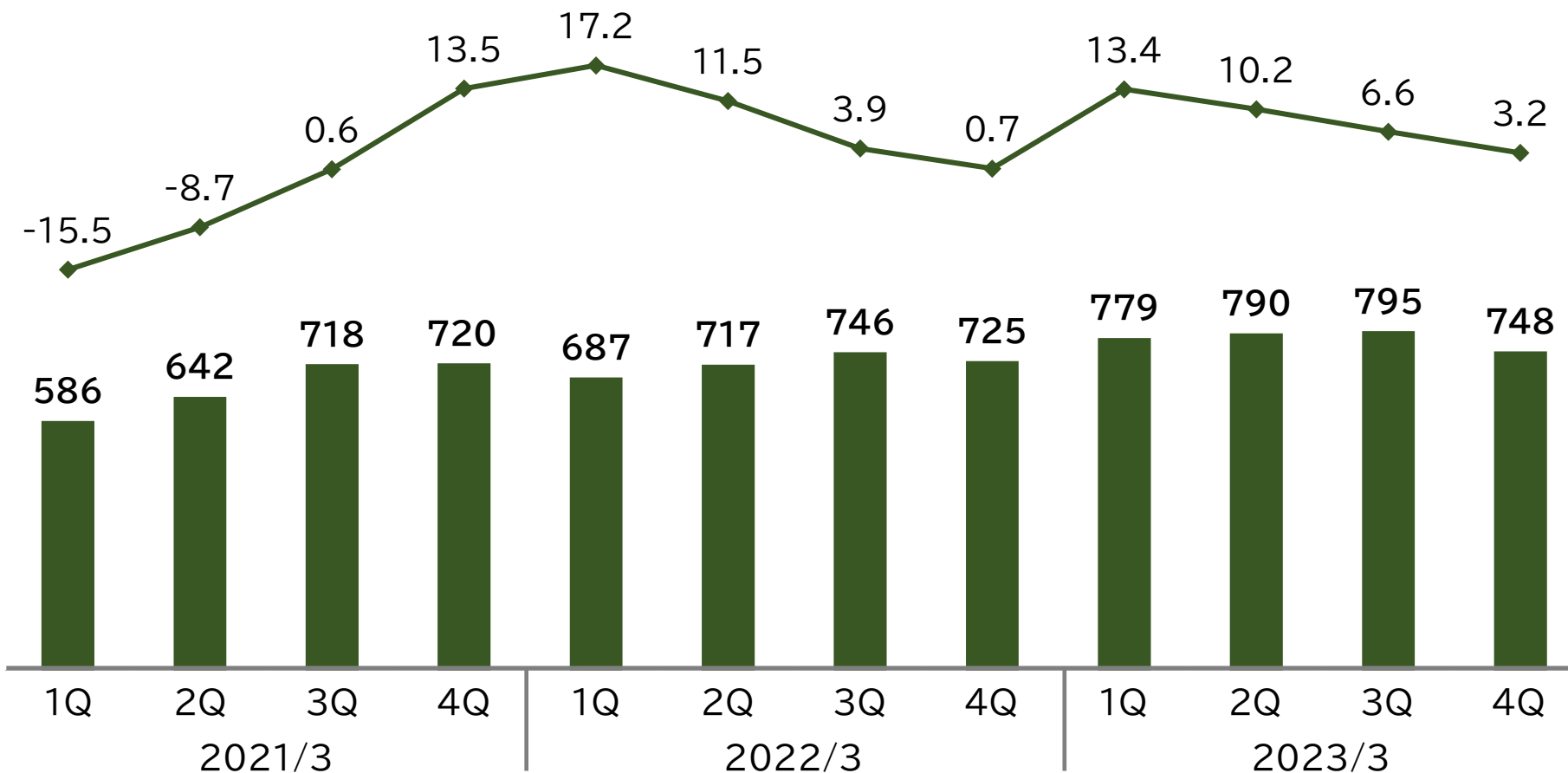
展示会などを活用した提案により、主力製品である「WAVIT」シリーズの認知度が高まり、レンタル卸向けで車いすの販売が堅調に推移したことから、増収となりました。一方で、円安の影響を受けて、収益性が悪化しました。

HCR機器部門 四半期別売上高推移

■ HCR機器部門 売上高

— HCR機器部門 売上高前年同期比伸率

(単位:百万円、%)

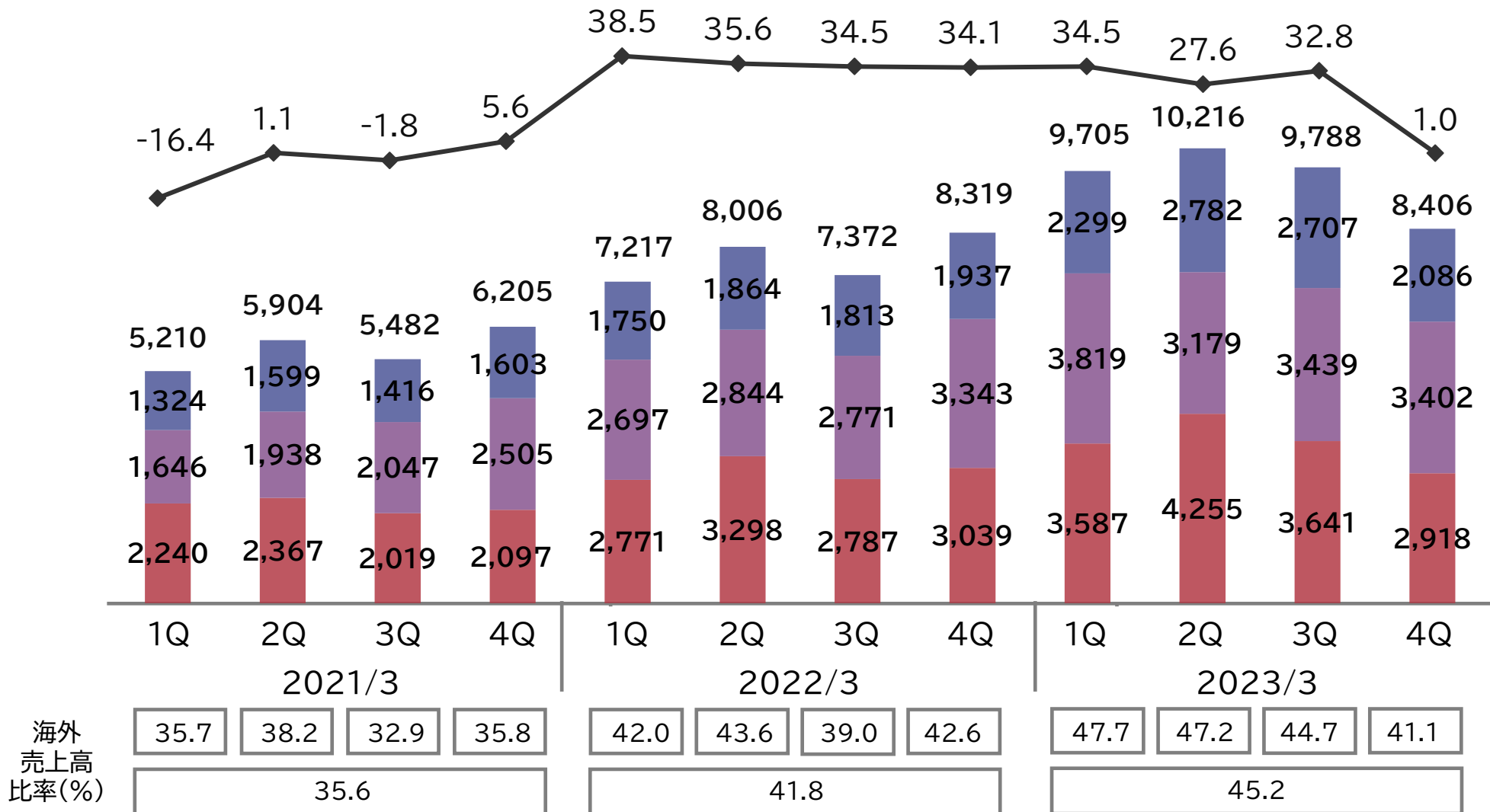


四半期別海外地域別売上高推移

■ 北米 売上高 ■ 欧州 売上高

■ アジア 売上高 — 海外売上高合計 前年同期比伸率

(単位:百万円、%)



※オートステープラ事業の海外売上高も含んでおります。

鉄筋結束機事業を中心にコンクリート構造物向け工具の販売は堅調に推移

- ・ 国内・海外コンクリート構造物向け工具売上 **279億円** (前年+21.6%の伸長)(計画に対する達成率108%)
- ・ コンクリートディーラー数 2021年3月期末比 **+49.3%増**

機械の累計稼働台数の増加にともない消耗品のタイヤが引き続き伸長

<海外>



〔北米〕

- ・ バックオーダー解消による主要ディーラーの在庫調整が発生し、第4四半期は新規受注が鈍化。セールアウトは堅調に推移し、在庫過多の状況はほぼ解消。

〔欧州〕

- ・ 不透明な景気見通しから、代理店やディーラーの在庫水準は必要最小限にとどまり、第4四半期は新規受注が鈍化。特に北欧のレンタル市場での需要が停滞。

〔欧米共通〕

- ・ 商業ビルや橋梁、高速道路など、堅調な非住宅市場へのアプローチを強化。

<国内>



- ・ スラブや壁、柱など用途別に生産性向上の観点から提案活動を進めるとともに、鉄筋結束機事業への活動工数を増。結束作業の機械化率の向上(新規導入)を図る。

2023年3月よりタイ第3工場の稼働を開始しました。

生産能力を増強し、伸長する鉄筋結束機事業の需要に対応します。

- 累計投資額 約17億円
- 建物面積 約4,800m²
- 鉄筋結束機用結束ワイヤ専用工場(海外市場向けツインタイヤシリーズ用ワイヤを生産)
- 現在の生産量(国内+タイ第2工場)に対し+25%の供給能力
需要状況に応じて、今後、最大+75%の能力アップを予定
- 環境に配慮したサステナブルな工場
3工場すべてに太陽光発電設備(出力約1,000kw)を設置し、工場で使用する年間消費電力の約15%を発電



2024年3月期 事業計画

■想定為替レート

1ドル 130.00円

1ユーロ 140.00円

(単位:百万円、%)

	今回計画	前回計画※	差額	実績 (2023年3月期)	増減率
売上高	87,800	81,000	6,800	84,316	+4.1
営業利益	10,700	9,400	1,300	9,926	+7.8
同率	12.2	11.6		11.8	
経常利益	10,600	9,400	1,200	10,510	+0.8
同率	12.1	11.6		12.5	
親会社株主に帰属する当期純利益	7,700	7,000	700	7,619	+1.1
同率	8.8	8.6		9.0	
1株当たり当期純利益(円)	162.78	—	—	161.07	
ROE	8.5	8.1	0.4P	8.9	

※前回計画は、2022年4月28日に発表した修正中期経営計画における2024年3月期計画です。

2024年3月期 セグメント計画

(単位:百万円、%)

	今回計画	前回計画※	差額	実績 (2023年3月期)	増減率
インダストリアル機器部門					
売上高	62,900	58,100	4,800	59,719	+5.3
セグメント利益	10,950	9,620	1,330	9,433	+16.1
セグメント利益率	17.4	16.6		15.8	
オフィス機器部門					
売上高	21,600	19,700	1,900	21,482	+0.5
セグメント利益	3,850	3,410	440	4,287	△10.2
セグメント利益率	17.8	17.3		20.0	
HCR機器部門					
売上高	3,300	3,200	100	3,113	+6.0
セグメント利益	100	100	-	△201	-
セグメント利益率	3.0	3.1		△6.5	
調整額	△4,200	△3,730	△470	△3,594	-
全社計					
売上高	87,800	81,000	6,800	84,316	+4.1
営業利益	10,700	9,400	1,300	9,926	+7.8
売上高営業利益率	12.2	11.6		11.8	

※前回計画は、2022年4月28日に発表した修正中期経営計画における2024年3月期計画です。

2024年3月期 サブセグメント(事業別)計画

(単位:百万円、%)

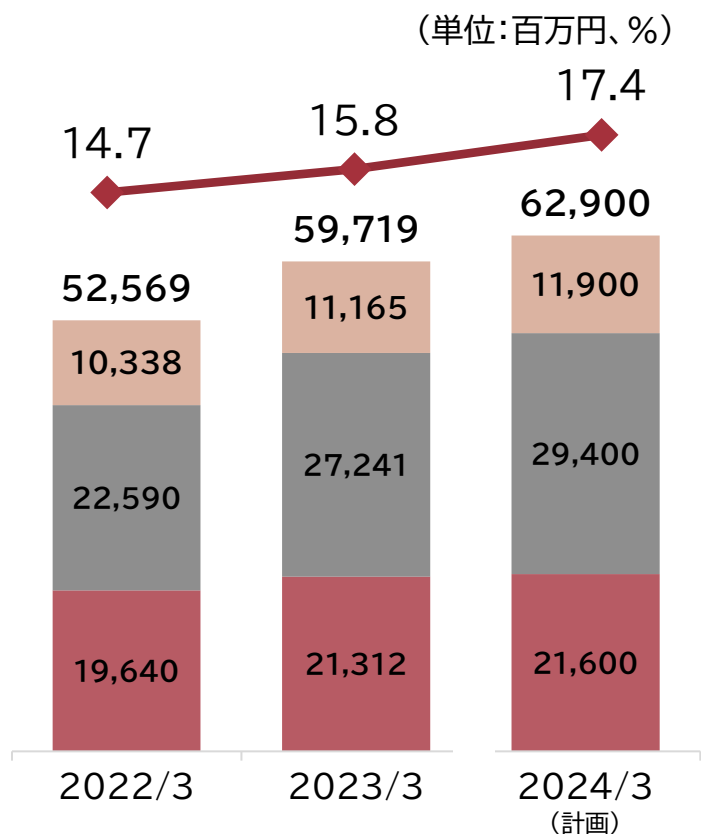
	今回計画	実績 (2023年3月期)	差額	増減率
インダストリアル機器部門				
セグメント売上高	62,900	59,719	3,180	+5.3
国内機工品	21,600	21,312	287	+1.3
海外機工品	29,400	27,241	2,158	+7.9
住環境機器	11,900	11,165	734	+6.6
セグメント利益	10,950	9,433	1,516	+16.1
セグメント利益率	17.4	15.8		

	今回計画	実績 (2023年3月期)	差額	増減率
オフィス機器部門				
セグメント売上高	21,600	21,482	117	+0.5
国内オフィス	7,950	7,450	499	+6.7
海外オフィス	6,200	6,145	54	+0.9
オートステープラ	7,450	7,887	△437	△5.5
セグメント利益	3,850	4,287	△437	△10.2
セグメント利益率	17.8	20.0		

重点方針

欧米を中心とした海外市場での鉄筋結束機事業の成長

- 国内機工品事業
- 海外機工品事業
- 住環境機器事業
- セグメント利益率



海外機工品事業

- ・ 鉄筋結束機事業に対する営業人員の増員
- ・ コンクリート資材系ディーラー網の拡大・育成強化
- ・ アフターサポート体制の充実

国内機工品事業

- ・ 鉄筋結束機事業の土木市場の開拓、既存市場での新用途提案

住環境機器事業

- ・ 浴室暖房換気乾燥機リフォーム・リプレースのストックビジネス拡大と工事体制の拡充

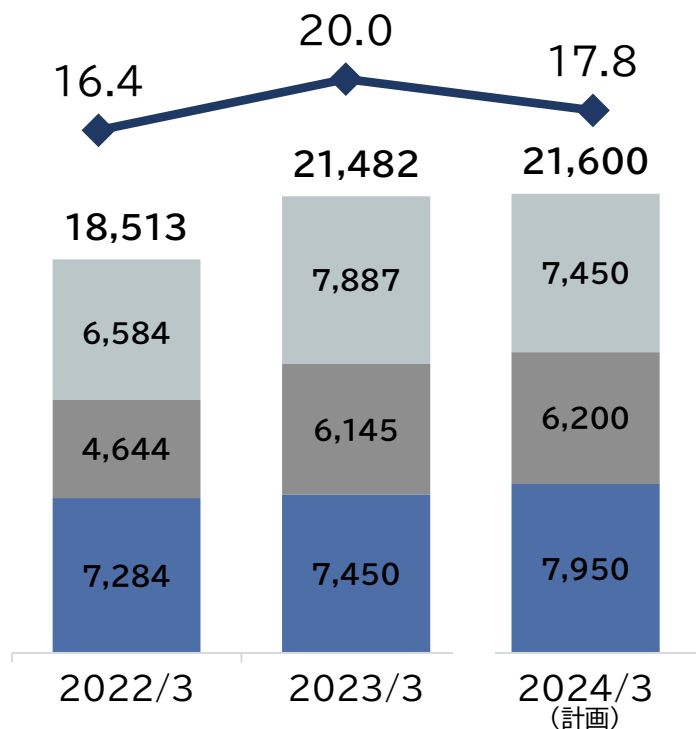


重点方針

文字表示機器(表示作成機「ビーポップ」やチューブマーカ「レタツイン」など)の拡大によるセグメントにおける収益性の維持

- 国内オフィス事業
- 海外オフィス事業
- オートステープラ事業
- セグメント利益率

(単位:百万円、%)



国内オフィス事業

- ・ ICT活用による顧客接点の強化・営業活動の生産性向上
- ・ 「ビーポップ」や「ラベルプリンタ」など文字表示機器によるストックビジネスの拡大

海外オフィス事業

- ・ 「ビーポップ」や「レタツイン」など文字表示機器の欧米・中国での拡販
- ・ 産業用途で需要が見込まれる電動リムーバなどの提案活動

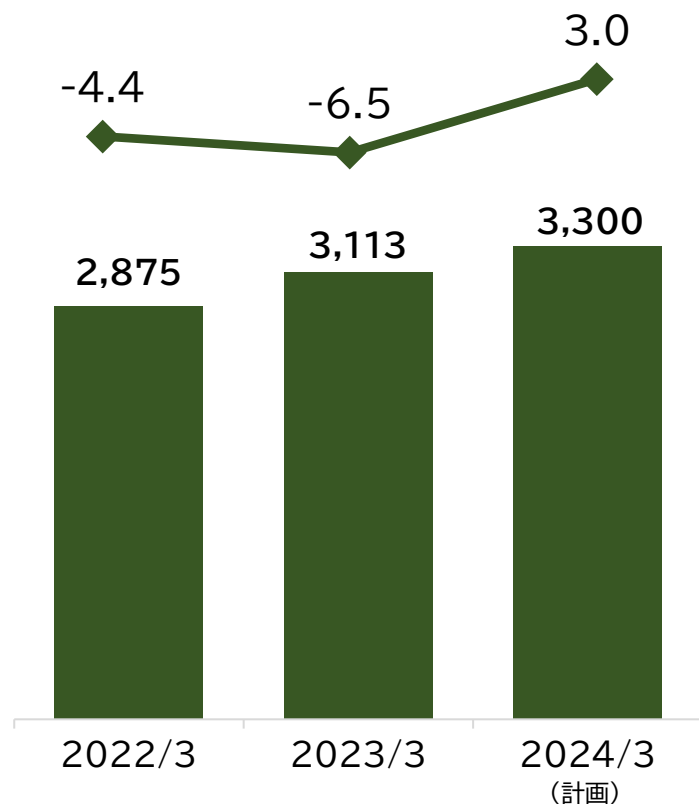


重点方針

高付加価値車いすの販売促進や海外市場での売上拡大、中国工場の生産性改善による収益性の向上

■ HCR機器部門売上高 — セグメント利益率

(単位:百万円、%)



- ・ 中国工場の生産性改善と内製化による収益性向上
- ・ 中国・アセアン市場を中心とする海外市場への展開拡大
- ・ 高付加価値車いすの拡販、継続的な新製品投入

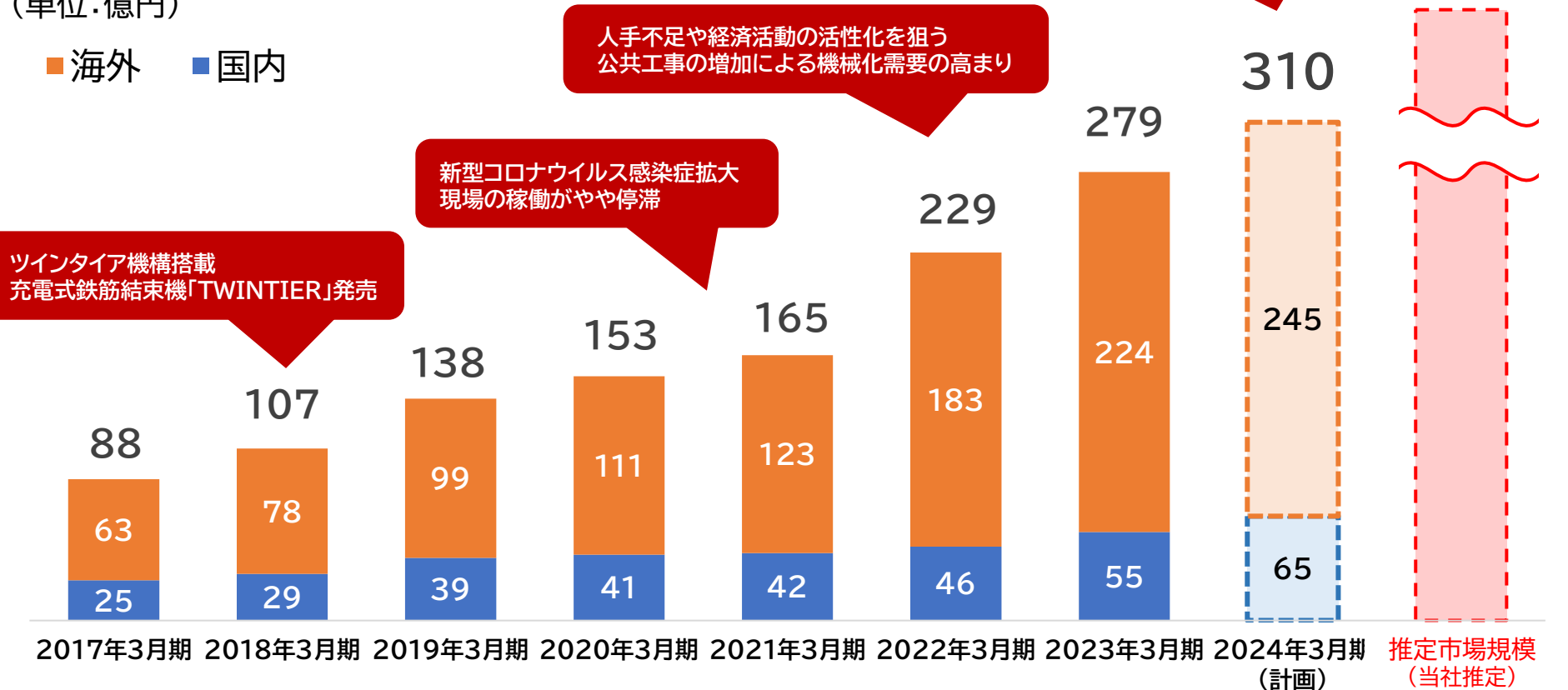


コンクリート構造物向け工具の実績推移

2024年3月期のコンクリート構造物向け工具の売上高は前年から30億円増の310億円を計画

(単位:億円)

■ 海外 ■ 国内



コンクリート構造物向け工具の実績は、2018年3月期の「TWINTIER」発売を契機として伸長を継続。2023年3月期の実績は279億円となり、2017年3月期の88億円から3倍以上の事業規模に成長。

充電式鉄筋結束機「TWINTIER」シリーズ

〈機械〉



スタンダードモデル
2017年発売



大口径モデル
2019年発売



ウォーカーモデル
2020年発売

〈消耗品〉



専用結束ワイヤ「タイワイヤ」

重点施策

日本

- ・現場の生産性向上を切り口とした提案活動の推進
- ・既存市場における新用途提案
- ・土木市場の開拓

海外(欧米)

- ・ディーラー網の拡大
- ・ディーラーの育成・強化
- ・営業人員の増強
- ・販売拠点の新設(オセアニアなど)
- ・非住宅市場へのアプローチを強化

生産・開発

- ・タイ第3工場稼働(2023年3月)による生産能力の増強
- ・需要状況に応じた設備投資の実行
- ・次世代商品の開発推進

中長期的な事業成長に向けた戦略的投資

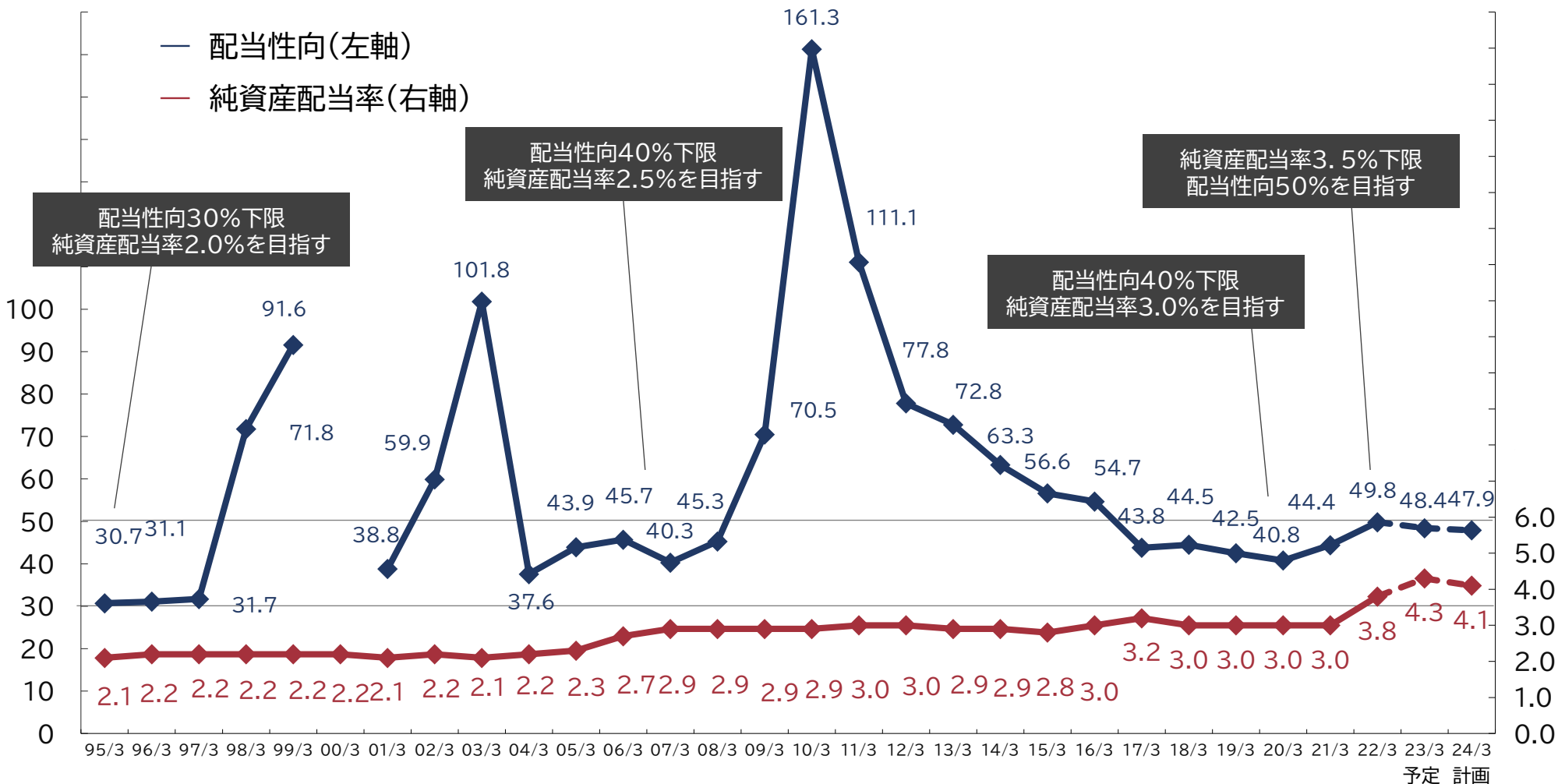
重点方針

重点事業の拡大と新規事業の創出への積極的な投資により、事業成長につなげる

	主な施策	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 計画
営業インフラ投資	<ul style="list-style-type: none"> 海外拠点の営業人員増強 販売拠点の新設/調査費用 新規マーケット及び販路の調査 	1.7億円	3.2億円	5億円
デジタル技術への投資	<ul style="list-style-type: none"> デジタルマーケティング推進 ホームページ改善 DX認定の取得 	1.2億円	1.6億円	4億円
開発戦略投資	<ul style="list-style-type: none"> 新規事業・サービス検討 知的財産戦略の推進 	3.6億円	2.2億円	6億円
コーポレート・ コミュニケーション投資 他	<ul style="list-style-type: none"> 統合報告書の発行 ブランド/インナーブランディング強化 	0.3億円	0.4億円	1億円
合計		6.8億円	7.4億円	16億円

連結決算を基準に「純資産配当率3.5%下限、配当性向50%目標」

(単位:%)

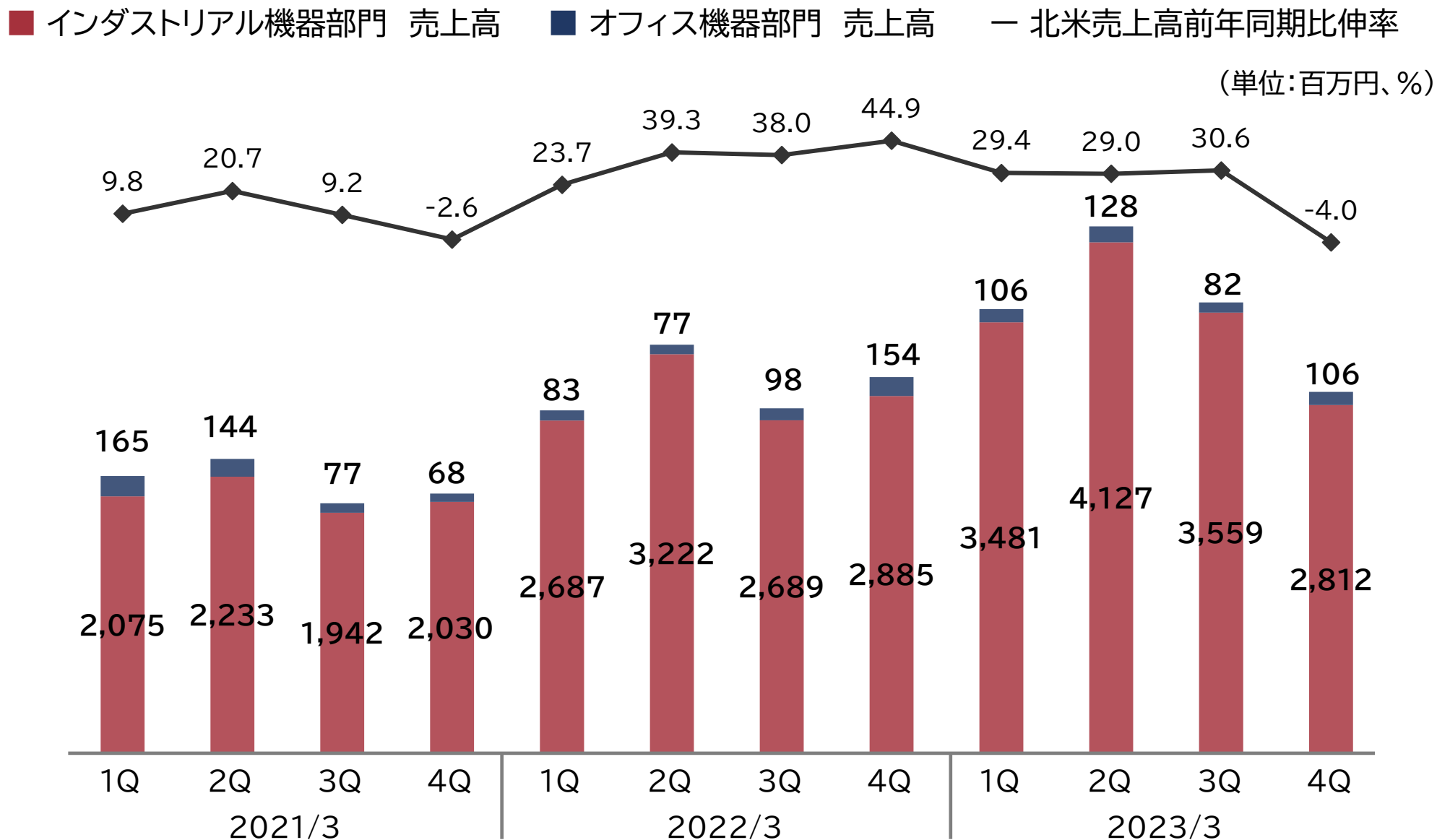


※2005年3月期までは単独ベースです。

予定 計画

參考資料

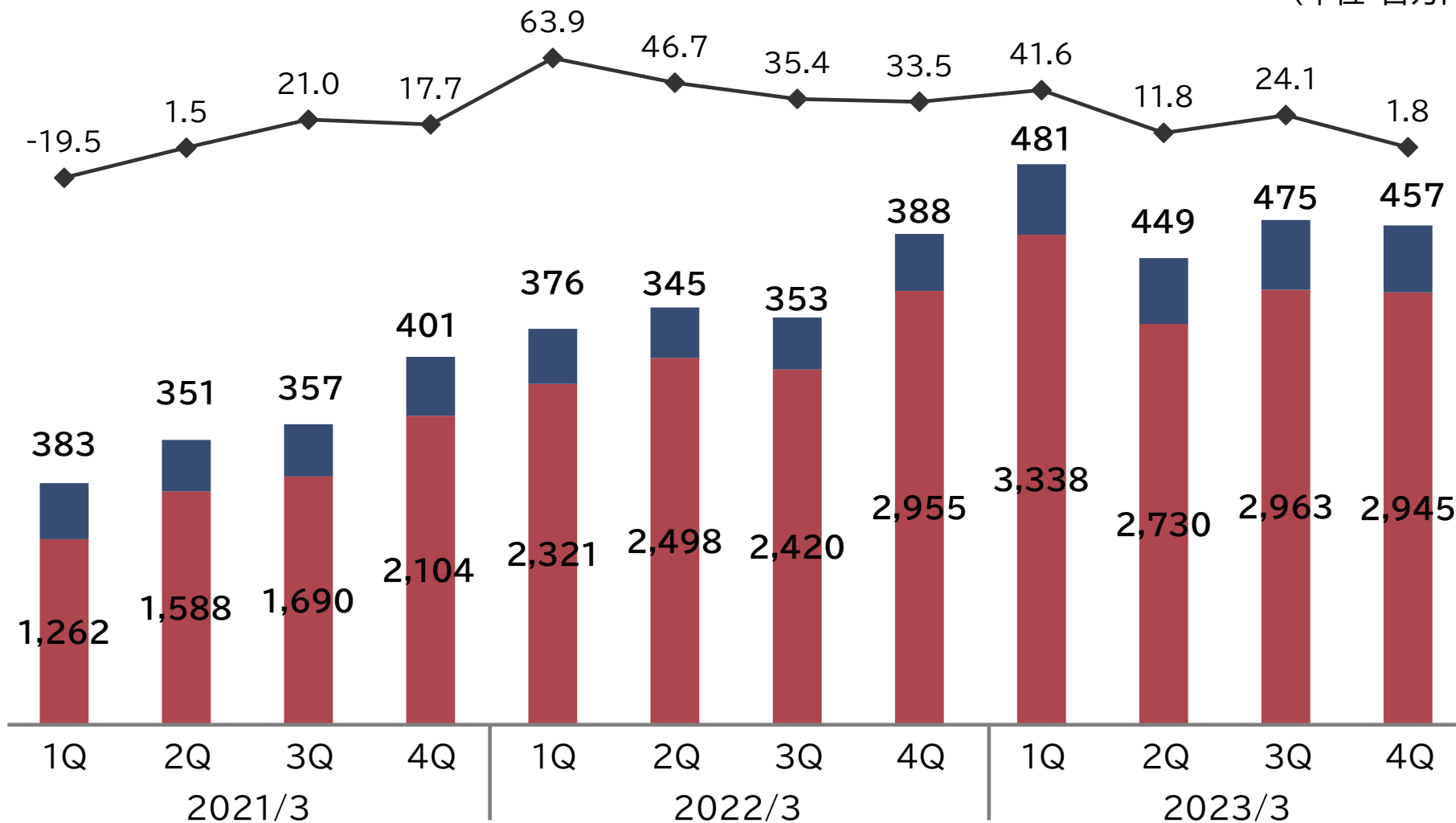
四半期別海外地域別セグメント売上高推移(北米)



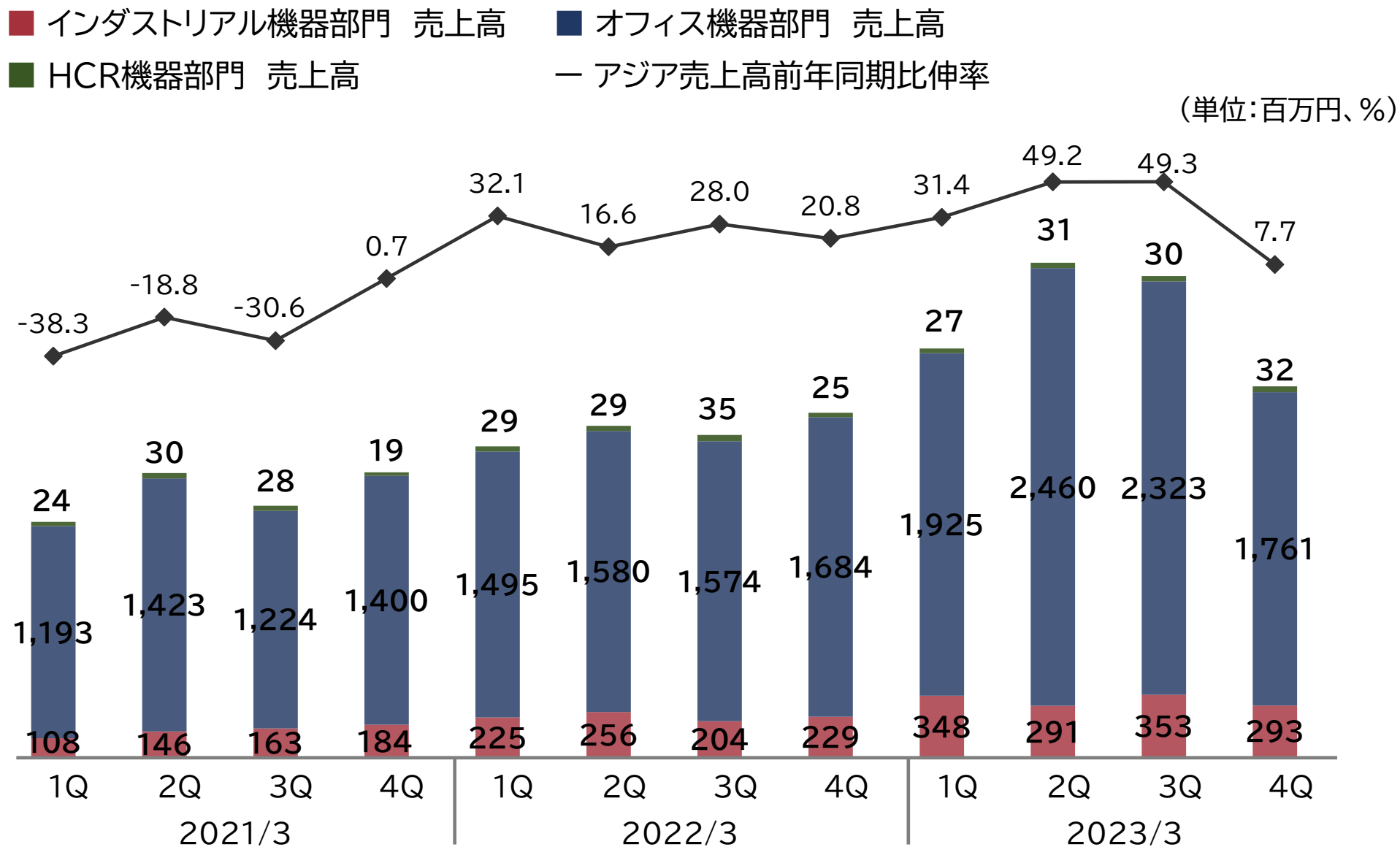
四半期別海外地域別セグメント売上高推移(欧州)

■ インダストリアル機器部門 売上高 ■ オフィス機器部門 売上高 — 欧州売上高前年同期比伸率

(単位:百万円、%)



四半期別海外地域別セグメント売上高推移(日本除くアジア)



機工品事業

木造建築物向け工具



コンクリート構造物向け工具



AF(農業・食品)



オフィス事業

文具関連製品



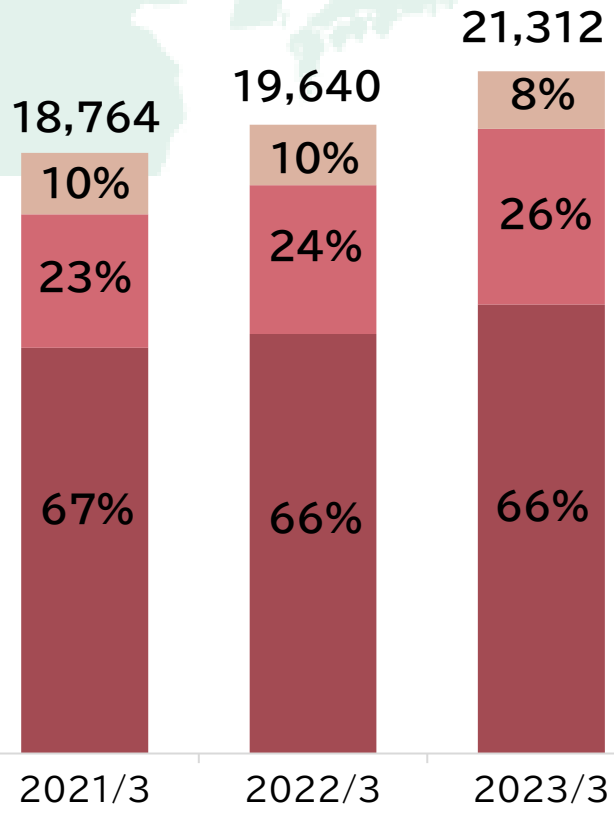
文字表示機器



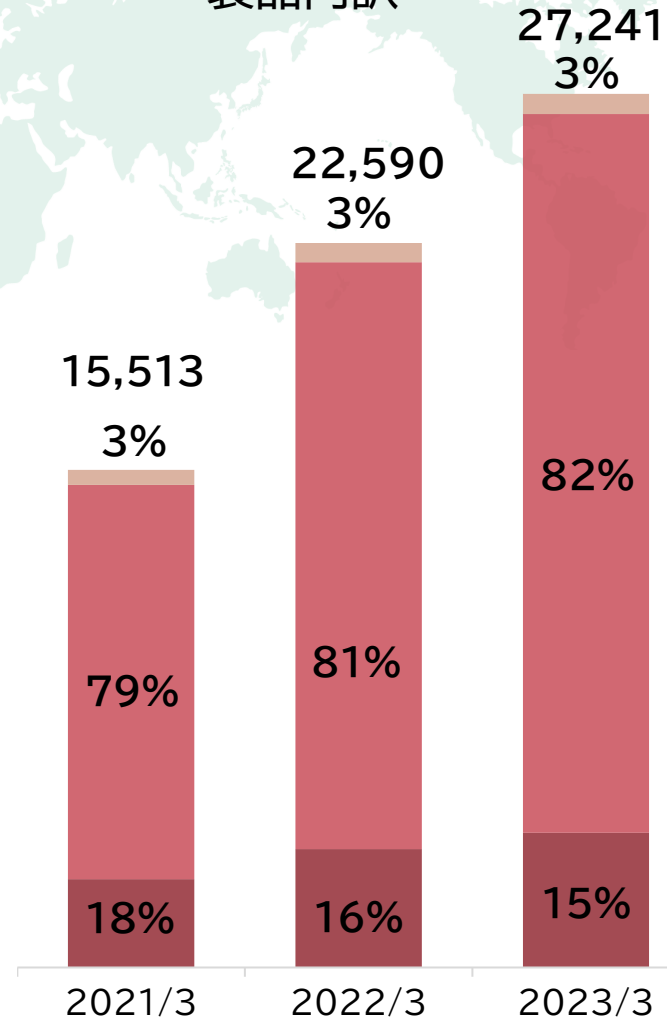
その他



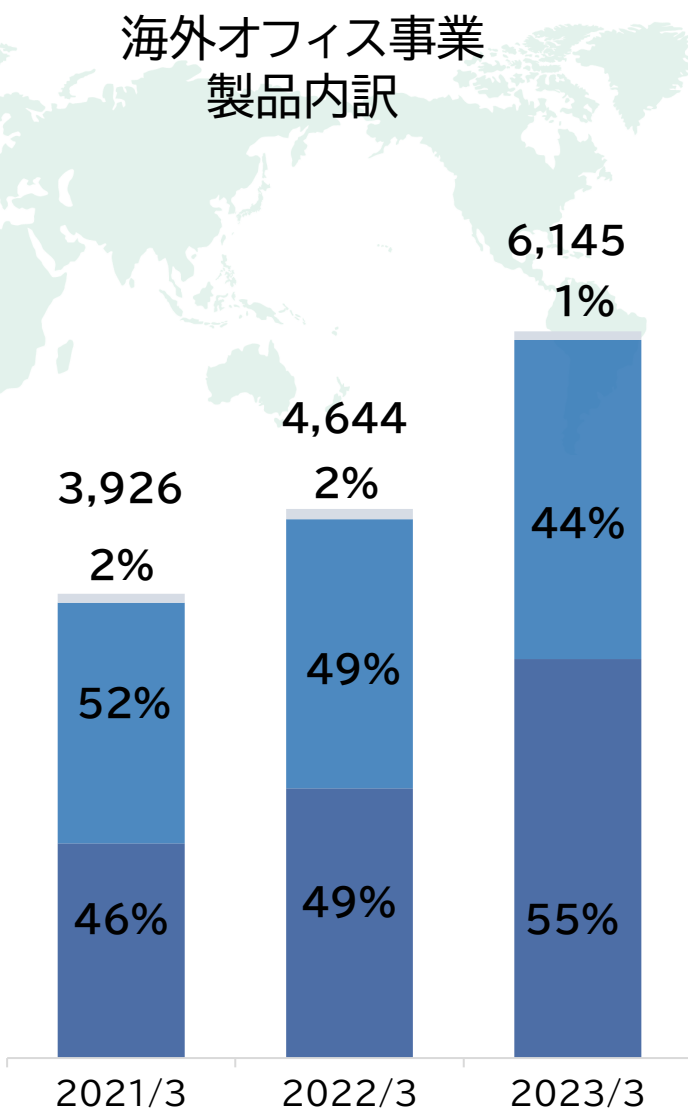
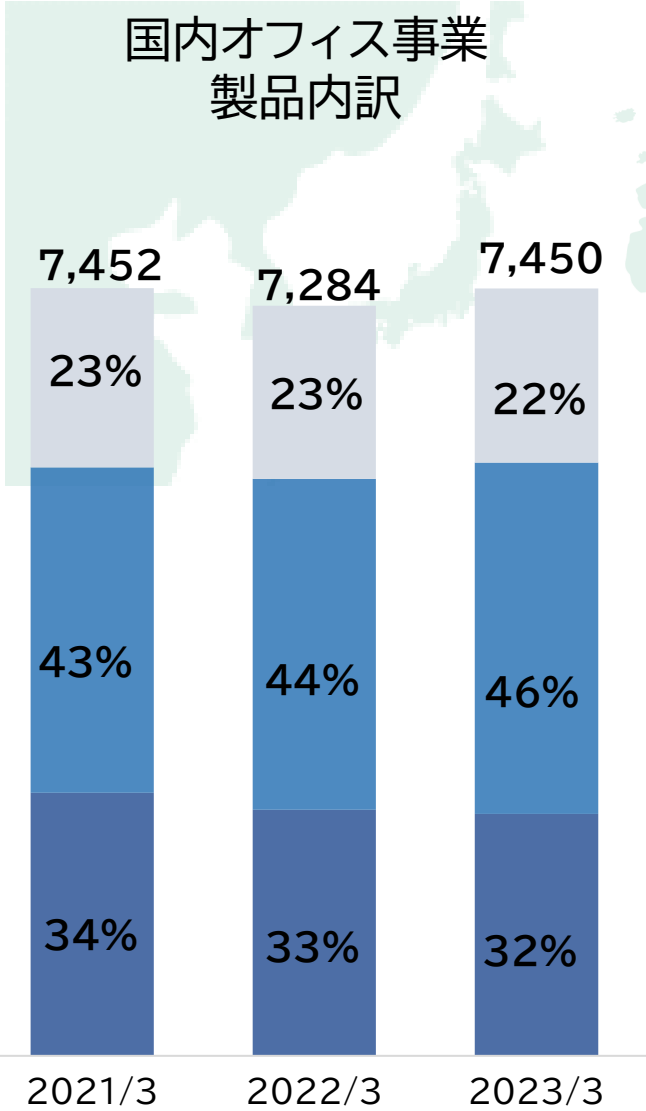
国内機工品事業
製品内訳



海外機工品事業
製品内訳



- AF(農業・食品)
- コンクリート構造物向け工具
- 木造建築物向け工具



- その他
- 文字表示機器
- 文具関連製品



本資料に記載されている内容は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成されたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。予めご承知おきください。